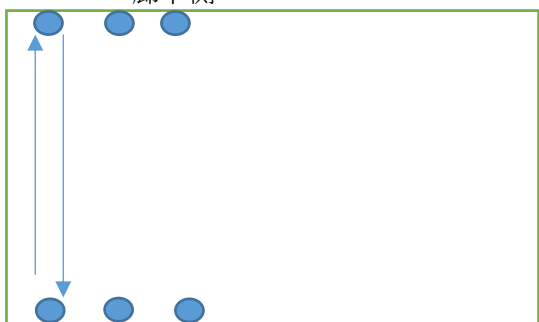


自作教具の活用事例

【作品名】 ぞうきんがけ応援キャラクター	【学校名】 日立特別支援学校
【活用できる領域・教科等】 清掃活動	【制作者名】 戸祭 直子
【制作の意図】 ○本人の苦手な雑巾がけへの意欲向上 ○雑巾がけを行った回数を数えられない児童が「どのくらいやった／あとこれだけ」を視覚的に理解できる	【使用方法】 ①雑巾がけをする教室の壁面下部に設置する。 ②壁面両側に○マジックテープを貼り付けておく。 ③雑巾がけを往復する数のキャラクター（ラミネートをかけたもの）を用意し、目標物として貼り付ける。 ④貼り付けた場所から反対側へキャラクターを剥がして運ぶ。 ⑤運んだキャラクターを貼り付ける。
【制作上の工夫】 ○児童の好きなキャラクターを使用した。 ○マジックテープでの接着により、簡単に付けたり外したりできる。 ○手のひらより少し小さいサイズで、雑巾に乗り、ラミネートをかけたので耐久性があり、万が一ぶつかったり当たったりしても安全。	【見取り図】 教室  ●はマジックテープ →は雑巾がけを行う方向
【写真】 	【使用効果と応用発展】 ①児童が雑巾がけに対する意欲が向上した ②雑巾がけの作業の見通しをもてた ③教師がつきっきりにならなくても行う回数の管理ができるようになった ④当該児童が行う雑巾がけの場所が固定し、始められるようになった ⑤マジックテープやキャラクターを目印に、概ねまっすぐ雑巾がけができるようになった
【材料・材質・部品等】 ○シールタイプの円形マジックテープ（壁にオス側、キャラクターにメス側） ○児童の好きなキャラクターのイラストをラミネート加工したもの	